

クラックを防ぐ強力ジョイント処理用パテ

NS タフクラック・P

内装用パテ
(下、中塗り)



タフクラック・P(内装用)

強度の強い α 石膏を主原料に使用し、さらに特殊樹脂を配合した事により、硬化後、微弾性があり、各種下地材と強力な接着性能を持ち、これらによりジョイント部のクラック発生が従来パテ施工比較で格段に少なくなります(ファイバーテープ等、ガラス繊維テープ併用が標準です)。

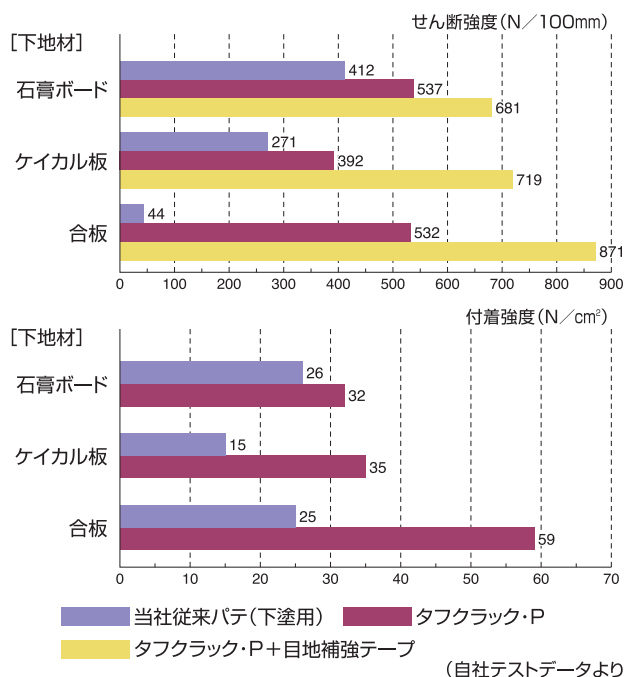
JISA6914適合品 F☆☆☆☆登録
(登録番号 1008022)
(日本建築仕上材工業会)

品番	時間	色	荷姿	施工面積
040082	60	淡クリーム	10kg/BOX (2.5kg×4)	200m ² /10kg
040182			2kg/袋	40m ² /2kg

特 長

- 1 α 石膏、特殊樹脂の使用で微弾性があり、なおかつ強力接着があるのでクラックの発生が非常に少なくなります。
- 2 従来パテに比べて強力接着性の為石膏ボードは勿論、さらにはベニヤ、合板、ケイカル板との付着性が優れています。
- 3 非吸収性下地(樹脂系部材、パテ処理の必要な見切縁、ハットジョイナー等)への使用にも適しています。
- 4 モルタル面及び、リフォーム時の下地材に於けるクラックの処理にも適しています。

タフクラック・P強度性能



内装用・目地処理材の総合メーカー

NS 株式会社 ニットー



大阪営業所 大阪市西区川口3丁目10番30号
TEL<06>6582-4920 FAX<06>6582-4903
名古屋営業所 名古屋市中川区富田町千音寺字西尼ヶ塚144-2
TEL<052>432-1133 FAX<052>432-1131
E-mail: info@ns-nitto.co.jp

特約店

調整方法

きれいな容器に所定量の9割(0.8~0.9ℓ)の清水を入れ、この中にパテを少量ずつ散布しパテ全体を湿らせて下さい。**水の量は2.5kg当り1ℓ(硬め)~1.1ℓ(軟らかめ)が適量です。**その後、直ちに、ハンドミキサーで約3分間、パテ練り機で約5分間攪拌混合し、均一なペーストに調整してご使用下さい。

※本来の強度を発揮する為に、所定の混水量(40%~44%)を守って下さい。

※本パテは従来パテと比べると**粘性が強い為、パテの混練ムラによる性能低下の原因になる事があるので、手混練は極力、お控え下さい。**

施工方法 新 築

- (1) 1回目のタフクラックPは、従来のパテベラより一回り小さめのヘラで**V目地部に埋め込む様にして塗り付け**て下さい。
- (2) その後、直ちに目地部に平行に余分なパテをしごき取る様に処理して下さい。
- (3) 次に1回目のV目地部の肉ヤセ状態を確認後、2回目のパテ付けが必要な場合は、**1回目のパテ付け後、夏場は約30分後、冬場は約60分後に2回目のパテを1回目と同様にV目地部に埋め込む様に塗り付けて、余分なパテをしごき取る様に処理**した後、1日乾燥養生して下さい。
 - ※1. 本パテは従来パテと比べると、造膜作用が強い為、練り容器内で厚く造膜した場合は表面の造膜部を取り除いてご使用下さい。
 - ※2. 本パテは従来パテと比べると、**乾燥後、表面硬度が高い為、サンダー掛けが難しくなりま**
すので、目地部や段差部を除いて盛らない様にして下さい。また硬化する前に余分なパテをしごき取る様に落として下さい。
 - ※3. **原則として、各下地材の目地部にはファイバーテープを入れて下さい。**
- (4) ファイバーテープの上から中塗りを行います。この際も、網目にしっかり充填される様に塗り付けて下さい。
- (5) 上塗りパテの塗り付けは、**クロス仕上**の場合は**NSメリット、NSハイスティック及びセレクト**を若干狭めに通常の方法で塗り付けて下さい。
- (6) **塗装仕上げ**の場合は、**NSニューオルマー**を通常の方法で塗り付けて下さい。

施工方法 リフォーム・クラック補修

- (1) クラック発生個所に対してカッターなどでV溝を作ります。
- (2) 削られたV溝表面の剥脱を防ぐためにシーラーを施します。せっこうボードであれば、『NSパワーシーラー』を2倍に希釈して塗布し、十分に乾燥させて下さい。
- (3) V溝の奥までパテが充填されるように、『タフクラック・P』を埋め込む様に塗り付けて下さい。
- (4) 以降は新築(3)の※1~(6)と同様に施工して下さい。

注意事項

- (1) NSタフクラックPは反応硬化タイプですので、混練後60分以内に使い切る様にして下さい。
 - (2) せっこうボード、及び他の下地材使用の際には、**状況により必ず適切なシーラー及びプライマー処理をして下さい。**
 - (3) 仕上げパテやクロス貼り及び塗装仕上施工は、接着不良や変色の原因にもなりますので、パテ面が十分乾燥してから実施して下さい。
 - (4) 本パテは吸湿性がありますので、高温・高湿度条件下の所へは保管しないで下さい。又適正な条件下であっても製造後150日以内にご使用下さい。
- ※その他、詳しい注意事項は、製品箱記載並びに安全データシートをご参照下さい。